

日越人材育成交流フォーラム 2019 in ハノイ 梅田大使挨拶

本日は、日本国際親善協会と日本大使館が共催する「日越人材育成交流フォーラム」に参加いただいたことにお礼を申し上げますとともに、日本政府を代表し、二点話をさせていただきます。

一点目は、日本では、4月30日をもって「平成」の時代が終わり、5月1日、新天皇の即位とともに新たな時代「令和」が始まったことです。

「令和」の時代の幕開けに際し、ベトナムの指導者並びに多くの国民の皆様から、お祝いのメッセージを沢山頂いたことに感謝を申し上げます。現在の日越関係は、指導者間の「厚い信頼関係」と国民間の「強い親近感」に支えられ、これまでで最高とも言われています。

このような良好な日越関係の背景の一つとして、日本で留学や技能実習を経験した多くの方が、その後も様々な分野において、両国の架け橋として活躍されていることも大きな要因として挙げられます。

元留学生の中には、ベトナム政府、国会、大学など教育界、医学界、日系企業などで活躍されている方々が沢山おられます。また、日本での技能実習によって身に付けた建設、製造等の技能や日本語能力などを活かし、ベトナムの日系企業で活躍されているベトナム人も沢山おられます。優秀な技能実習生が帰国するのに合わせて日本企業がベトナムに進出し、当地に設立された工場では、元技能実習生が責任者として活躍されている例もあると聞いています。

新たな「令和時代」においても、あらゆる分野において日越関係を強化したい意向であり、皆様の御協力をお願い申し上げます。

二点目は、日本に居住するベトナムの若者に関してです。現在、33万人を超えるベトナム人が日本に居住し、日本経済を支え、自分の夢を実現しようとしています。

その一方で、多額の借金を負って日本に来る方、日本で過重労働に苦しむ方など、不本意な生活を送っている留学生や技能実習生が後を絶ちません。非常に残念なことですが、この3-4年の間に、日本における国別外国人犯罪件数、技能実習生の失踪者数は、ベトナムが一位になっています。

ベトナムの若者は夢や希望を抱いて訪日しており、決して最初から犯罪を目的にして日本に行く人はいません。しかし、若者の夢や希望を食べ物にし、犯

罪に追い込んでいる人達が日本とベトナム両国にいます。

それは、「悪質なブローカーや送出機関、日本語学校」の存在です。悪質ブローカー等は「日本に行けば、勉強しながらたくさん稼げる」、「早く日本に行けるようにしてあげる」と言った甘い言葉で金銭の支払いを求め、夢や希望を抱く若者に「多額の借金」を負わせ、お金を稼いでいます。

このような悪質ブローカー等に騙され、人生をダメにする若者を一人でも減らすため、日本政府はベトナム政府と協力し、悪質ブローカー等の排除に向けた取組を進めています。ベトナム労働・傷病兵・社会省海外労働管理局に対し、日頃のご尽力に感謝申し上げます。

日本においても、悪質な日本語学校や受入れ企業に対する対策を強化するとともに、適正な労働環境の確保、日本語教育や相談体制の整備等を通じ、外国人の方々がもっと暮らしやすい日本社会にする取組が開始されています。

また、大使館においても、後ほど担当者から説明しますが、留学ビザ申請者の個別面接、悪質な送出機関のビザ申請拒否、セミナーやホームページ・フェイスブックを通じた正しい情報の発信等に取り組んでいます。

このように、日越両政府が技能実習や留学の適正な実施に向けた取組を進める一方で、本年4月から、日本の深刻な労働力不足を支える労働者として、新たに特定技能の在留資格による外国人労働者の受入れの制度が創設されました。

制度に関する日越両国間の協力覚書は、ほぼまとまっており近々公表予定です。ベトナムにおける特定技能の募集・試験を6月に実施すべく準備中です。本日のフォーラムでは、こうした新たな動きも見据えながら、ベトナムの若者が安心して日本に来て仕事や勉強ができる環境を作るため、我々がこれまで以上に何ができるのか、何をすべきなのかを具体的に考えるきっかけになることを心より期待しております。